

7月18日正午、いよいよ岐阜市にオープン!

みんなの森

ぎふメディアコスモス

「岐阜市の岐阜大学医学部跡に、巨大な何かができるらしい」

数年にわたって噂にのぼり続けたこのトピックスが
来たる7月18日、ついに現実のものとなります。

岐阜市の中心地にオープンする「みんなの森 ぎふメディアコスモス」、
気になるその内情にズズイと迫りました!



ついに目見え
ぎふメディアコスモス

岐阜市の中心地・司町から岐阜大学の医学部が移転していったのは、今から10年ほど前のこと。ぽっかり空いた大きな空間をどう使うか…この楽しい悩み事は「つかさのまち夢プロジェクト」と名付けられ、これまで行政、市民、専門家の間で様々な議論が交わされてきました。

そのプロジェクト第一期の集大成として7月18日(土)にオープンするのが、複合施設「みんなの森 ぎふメディアコスモス」。「知の拠点」として市立中央図書館を、『絆の拠点』として市民活動交流センターを、『文化の拠点』として展示ギャラリー等を備えた、岐阜市の未来を担う一大施設です。

設計を担当したのは、世界的にも著名な建築家・伊東豊雄氏。岐阜県産のヒノキに柔らかく包まれた屋根と壁、光や空気をコントロールするために天井から釣り下げられた「グローブ」等々、これまで見たこともないような近未来的な建物が、この数年で着々とできあがりつつあります。

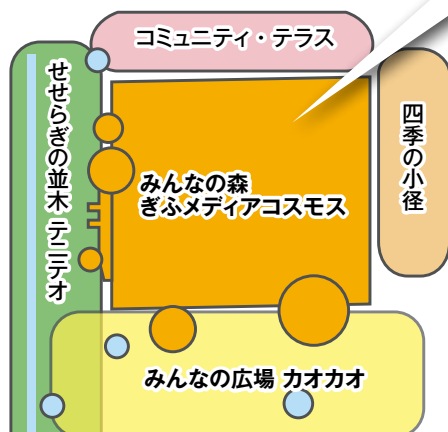
オープンまでいよいよ秒読み、気になるその内部に潜入してみました。

これが全貌だ!

例えば屋内と屋外にまたがる形でテラスやギャラリーが作られていたり、2つの空間を“つなぐ”構造が多く見られるのが特徴。緑あふれるテラスや小径を設け、周辺市街地ともさりげなくつながり、溶け込むよう設計されています。

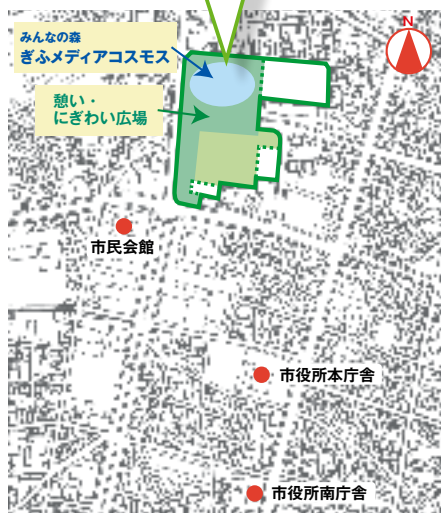
コミュニティ・テラス

住宅地に近い北側には、休憩やおしゃべりができる緑の空間を創出。



せせらぎの並木 テニテオ

「みんなの森」を象徴する、約240mの美しい並木道。四季折々の野草・樹林が植えられ、散策のための小径やせせらぎも整備。昨年冬にはイルミネーションイベントも開催。



みんなの森 ぎふメディアコスモス

図書館と市民活動交流センターから成る複合施設。
詳しくは次ページへ!

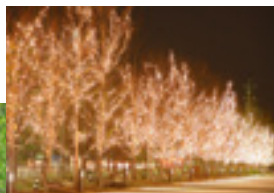


提供：伊東豊雄建築設計事務所

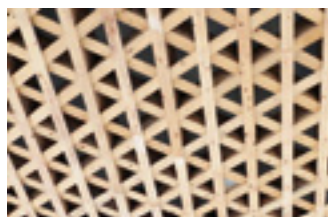


みんなの広場 カオカオ

イベント時や災害時などに様々な用途で活躍する空間。霧の泉(ミスト)があり、清涼感いっぱい。



- 住** 岐阜市司町40-5
- 時** 9:00~21:00
(図書館は20:00まで)
- 休** 毎月最終火曜日と
12月31日~1月3日
- 駐** メディアコスモス
利用者駐車場 350台
(2時間無料・以降は30分100円)
- 問** ☎058-265-4101

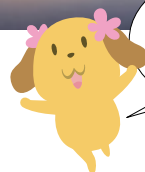


1階から2階の床までは鉄筋コンクリート造、屋根は軽量の木造シェル構造。薄い木材を奏上に重ねて編むことで、ファブリックのような軽さを演出している。

延床面積/15,225㎡ 構造/鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造
規模/地上2階 設計者/伊東豊雄((株)伊東豊雄建築設計事務所代表取締役)



夜は暖色系の灯りで
あたたかい感じ♥
駐車場がたっぷり
あるのも嬉しいね♪



市立中央図書館

2階に上がると、まず目に飛び込んでくるのが「グローブ」と呼ばれる巨大な傘。自然光を取り入れるとともに自然換気を促して消費エネルギーを抑えてくれる、画期的な存在です(施設ではさらに太陽熱、太陽光、地下水による自然エネルギーも使われており、環境負荷を1/2程度に抑えているそう)。

ヒノキの香りに癒されながら、めくるめく「本の森」探検に繰り出しましょう!

① 文学のグローブ

文学や哲学の本をじっくり読めるスペース。

② レファレンスカウンター

資料・図書の案内や相談の受付カウンター。

③ 調べるグローブ

郷土資料などが閲覧しやすい広々スペース。

④ 金華山テラス

金華山と岐阜城が望めるテラス。
外に出ることも可能。

⑤ 展示グローブ

図書紹介や展示イベントを行う空間。

⑥ ゆったりグローブ

雑誌を片手にソファでゆったりくつろげる。

⑦ ひだまりテラス

雑誌を読めるほか、子どもをあやしたりおしゃべりしたり。

⑧ 親子のグローブ

絵本に囲まれた親子スペース。小さめ椅子がキュート。

⑨ 児童のグローブ

児童生徒のためのスペース。調べ学習にもピッタリ。

⑩ 総合カウンター

貸出返却や総合案内のインフォメーションカウンター。書庫にもアクセス可。

⑪ ヤングアダルトのグローブ

中高生の勉強に適した自習スペース。

⑫ 文庫のグローブ

サッと文庫を読むのに◎の空間。



まさに館内は『本の森』! 圧倒的な広さ



中には靴を脱いでゴロゴロしながら本を読める席や、ドリンクを飲みながら使える席もあり。

新しい図書館に入る資料は約90万冊。これまでの市図書のなんと3倍(!)が所蔵できるようになります。席数もソファ、デスク、個室など合わせて910席あり、好きな席で読書に没頭できます。



迷い迷って楽しんで。独創的な棚レイアウト

本棚は各グローブを中心に放射状にレイアウト。そのため先が見渡せず、まるで迷路のようです。「まさに『本の森』のイメージ。探検家気分で迷いまくって、素敵な本に遭遇して下さいね」と館長の吉成さん(左ページに登場)。



本棚の間には、司書さんのオススメ本がディスプレイされていることも。本屋みたいな楽しいポップにも注目。

館長さんにいろいろ教えて頂きました。



図書館長 吉成 信夫さん

一般公募で選ばれた新・市立中央図書館の館長。東京都で企業コンサル経験後、39歳で大好きな宮沢賢治を追って岩手へ移住。「石と賢治のミュージアム」やエコスクール「森と風のがっこう」立ち上げに携わり、成功に導いた。ユニークでパワフルな人となりから「歩くカリスマ」「動くパワースポット」と呼ばれることも。

——岩手から、遠路はるばるようこそいらつしやいました!

車を約1,000km運転してやって参りました(笑)。以前から岐阜へは大学の講師として年に1回程度来ていたのですが、まさか住むことになるうとは、という感じです。森や古い町並みが残っていて、素敵なところですね。僕は「モーニング」フリークなので、これがあるのもいい。モーニングが持つ「ゆとり」は、図書館に通じるものがあります。

——新しい図書館は、どんな場所になりそうですか?

館長になることが決まった時、「いるのが気持ちいい」「ずつ」といたくなる「何度も来たくな

る」の3つを満たした図書館にしようと誓いました。既存の図書館の規格をはみ出して、ディスプレイあり・イベントあり、「公立の図書館がここまでやるの!」という場所にするつもりです。

図書館は「つなぐ場所」。本と人を、人と人を、図書館と市内の小中学校を、つないでつないでつなぎまくりましますよ!

——建物だけでなく、中身も斬新ですね。

イメージは公園。開放的で多少ザワザワしているくらいでもいいと思っています。目指すはポップで軽くて身近な雰囲気。まち全体がそうなっていくとまた面白いと思うので、図書館が

そのスタート地点になれば良いですね。

また若いお母さんに対して、「暮らし方」の提案をしていきたいと思っています。子育てで忙しかったり、岐阜で何をしたいのか分からなくなっているお母さん世代に寄り添って、毎日が楽しくなるようなメッセージを発信していくつもりです。

——図書館の中でお気に入りのポイントは?

うーん、いっぱいありますね。お茶を飲みながら読書できるスペース、中高生のためだけのスペース、靴を脱いでゴロゴロしながら本を読めるスペース……全部おもしろそうでしょ? そもそもこの図書館は迷路みたいに周りが見渡せない構造。存在そのものが本の森を冒険するみたいで楽しいですよ。

利用者にワクワクを感じてもらうには、我々スタッフ側も常にワクワクしてなきゃいけないと思っています。ブックトークやワークショップで自分たちも成長しつつ、楽しいことをいっぱい計画するつもりです。新生岐阜市中央図書館、とにかくぜひ1度お越し下さい!

吉成館長の野望 こんなこと計画中です

おはなしカート《実施決定》

動物型のカートに本を積んで、館内や市内小中学校を練り歩きます。「図書館に行くのではなく、図書館からやってきてもいいじゃん」という発想。

市民講座《秋から実施決定》

岐阜での暮らしが楽しくなるような市民講座を随時開催。時には館長も教壇に立つ予定。

各種イベント

●作家・朝井リョウさん トークイベント《実施決定》

垂井町出身の人気作家・朝井リョウさんがメディアコスモスに登場。事前に中高生から募集したショートショート作品の講評も行っていました。《作品募集中。詳しくは90ページをご覧ください。》

●「館長が選ぶ100冊」 「みんなのライブラリー」《実施決定》

吉成館長オススメの100冊を一挙展示したり、利用者1人1人に推薦図書を選んでもらって展示コーナーを作る計画。誰がどんな本を選ぶか、興味をそられます。



1F

市民活動交流センター

2階が図書館一色なのに対して、1階には貸スタジオやギャラリースペース、展示ホール、書庫、コンビニなどたくさんの要素が集まっています。そこにあるのは、近未来的で洗練された、それなのにどこかくつろげる不思議な空間。目的があって訪れるだけではなく逆に訪れてみたらやりたいことが出てきそうな、未来への希望を感じられます。

1. 各種スタジオ(有料)

使い道に合わせて選べる大小様々な貸スタジオ。詳しくは岐阜市のホームページをご覧ください。ちなみに「おどるスタジオ」など各部屋に付けられたキュートな名前は、岐阜市出身のアーティスト・日比野克彦さんの監修。



2. 本の蔵(書庫)

2階の図書館には出ていない本を所蔵する書庫で、2Fの入口から一般の利用者も出入りOK。一般開放できない貴重な資料のみ、司書さんだけが出入りできる中2階に所蔵。



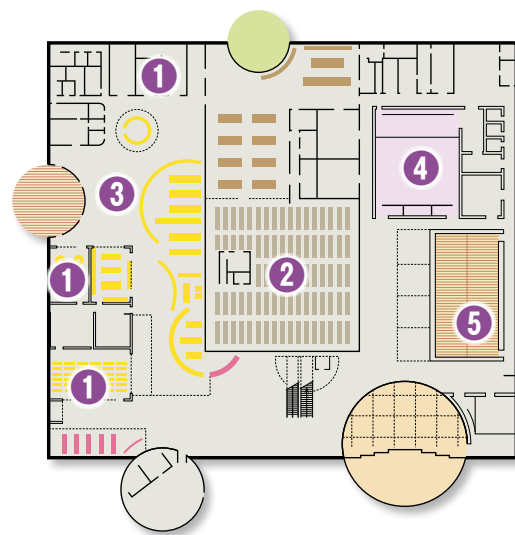
3. ワイワイ量

16個に分割できる憩いの量。縁側的にくつろいだり、スタジオに入れて和室風にしたりえたりと使い方は様々。この量はもちろん、館内の椅子や机などはおおむね伊東豊雄氏こだわりの品。



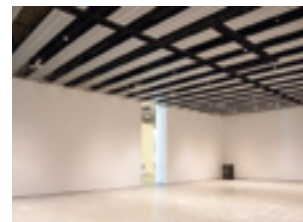
4. みんなのホール

岐阜市になかった230席の小サイズホールで、演劇、コンサート、発表会などに利用可。壁の凹凸は音響効果をもたらします。座席はゆったり座れるワイドサイズ。



5. みんなのギャラリー

美術展や写真展、研究結果の企画展などにぴったりのレンタルスペース。照明やパネルも貸し出されるので、目的・好みに合わせてレイアウトできます。



Comment



岐阜市市民参画部
ぎふメディアコスモス開設準備課
課長 高井 恒司さん

目指すは人と地域に「つながり」を生み出す絆の拠点となること。岐阜市の市民活動は、きつとここから全く新しい展開を見せる——。そう思うと、私自身とても楽しみです。

地域活動を行うときに、「他の地域ではどんな活動をしているのだろう」とか、「こんな活動したいけど手伝わってもらえそうな団体はないか」などと思ったことはありませんか？市民活動交流センターでは、そんな思いの「解決の糸口」となるよう、いろいろな情報を集積していきます。

また、まちづくり団体やNPO団体の活動を応援するのも役目の一つ。例えば活動に必要なスペースや設備を貸し出したり、今は別個に頑張っている諸団体に横のつながりを作るべく交流会を開いたり。市民の皆さん、そして市民活動団体の方に向けて何ができるか、私たちも模索中です。

「ここにくると何かがある」
そんな風に思われる場所に！

“メディコス”オープニングイベントをチェック



7月18日のオープン以降、楽しいイベント目白押し!
完成した施設を見学しがてら、ぜひご参加下さい。

7月18日(土)～20日(祝) オープニングイベント

**参加費
無料**
(飲食は有料)

■みんなの座談会 フムフムトーク
「みんなの森 ぎふメディアコスモス」にかける想い
～明日への種を創り育む～

【18日(土) 13:00～14:00】

名誉館長・益川敏英氏、建築家・伊東豊雄氏、
岐阜市長・細江茂光氏による座談会です。
※先着200席。みんなのホールにて開催。

■群読ワークショップ
～ヴァイオリニスト濱島秀行と群読の仲間たち～

【18日(土) 13:30～15:00】

ヴァイオリニスト・濱島秀行氏を迎え、「群読」を行います。
※定員50名。おどるスタジオにて開催。

■大正琴を体験しよう!

【18日(土) 15:00～16:00】

大正琴一位会の皆さんの演奏と指導で体験!
※定員50名。おどるスタジオにて開催。

■てにておラジオ

【18日(土) 13:30～16:30、

19日(日)と20日(祝)は12:00～14:00】

トークあり、レポートあり。
ドキドキテラスから、みんなでわいわい生放送!

■メディコスアドベンチャー

～見たい! 聞きたい! わくわく館内ツアーやよ～

【18日(土)～20日(祝)の14:00～と17:00～

(19日と20日は10:00～の回も有)】

メディコスのヒミツを聞いて感動!
あなたも今日からメディコス博士!
※定員は各回10名。総合案内カウンター前にて受付。

■オトイロココロ

【19日(日) 11:00～11:45、14:00～14:45】

生演奏を聞きながら、親子で鮮やかなペイントごっこをして
みませんか?
※定員30名(親子ペア可)。おどるスタジオにて開催。

■メディコス発 けったリング☆ツアー

【20日(祝) 9:00～13:00】

古本屋さんやカフェ、ギャラリーといったメディコス周辺のお
勧めスポットを紹介します。
※定員15名。正面入口付近集合。自転車をご用意下さい
(無料レンタサイクルも利用可)。

■さんしろう絵本ライブ with せーちゃんず

【20日(祝) 15:00～16:00】

絵本を読んだり歌ったり…。絵本と音楽のコラボレーション
を親子でお楽しみ下さい。
※ドキドキテラスにて開催。

■おはなしユニット しゃっぽ

【20日(祝) 15:00～16:00】

朗読・浅井彰子とチェロ・北村多佳子のユニット「しゃっぽ」
と共に、お話の世界へ。
※定員50名。おどるスタジオにて開催。

■Beat 【18日(土)～8月23日(日)】

日本最大級! 36日間のミュージック&フード
フェスティバル。全国から選りすぐりの「食」が
大集合♪ フードブース 10:00～21:00
屋外ステージ13:00～19:30

※みんなの広場カオカオにて開催。



メディコスに行こう

メディアアコスモス取材したの
は、仕上げの工事真っ最中の頃。外
溝はまだできておらず、図書館の本
も引越しの途中でした。にもかか
わらず、そこにあつたのは「おつ、
今までの公共施設とはちよつと違
うんじゃない?」という予感。見たこ
とない形の建物の中に、まったく新
しい何かが生まれようとしている。
しかも何だか楽しそう…。

「個人的なお気に入り夜ですね。
暖色系の灯りがぼうつと灯って、な
かなか幻想的ですよ」

そんな風にさらに胸躍るお話を聞
かせて下さったのは、開設準備課の
高井課長さん。

「あとはハコに負けない中身を、市
民の皆さんと作るだけです」

につこり決意表明も付け足して下
さいました。

さあ、いよいよ始まる「みんなの
森 ぎふメディアアコスモス」。この最
旬スポットに、あなたも出かけてみ
ませんか? 緑の並木道に居心地の
良い図書館、用途無限大のいろい
ろなスペース……。そこには自分と何
かがつながる空間が、きつと広
がっています。

(ふらぎ編集スタッフ 尾藤千春)

次回予告「お盆」について特集します。

お楽しみに!